

環境データ 第三者検証報告書

日本ロジスティクスファンド投資法人 御中

2025年7月22日

株式会社 日本環境認証機構
東京都千代田区神田鍛冶町 3-4

代表取締役社長 岡島善明

株式会社 日本環境認証機構（以下、「当社」）は、日本ロジスティクスファンド投資法人（以下、「組織」）より報告された環境データのうち、組織から要請のあったものに対して、独立した立場から検証を行った。検証の目的は、報告情報の信頼性および正確性など、報告情報の信憑性を検証した結果についてその見解を述べることにある。

検証は、国際保証業務基準第 3000 号「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」（ISAE3000）に則した JACO 基準を基本に、組織と合意した手順により、限定的保証として行った。限定的保証業務で実施される手続は、合理的保証業務よりもその種類と時期が多様であり、その範囲が狭い。その結果、限定的保証業務で得られる保証の水準は、合理的保証業務が実施されていたなら得られたであろう保証よりも相当に低い。

【検証内容の概要】

当社は、組織との合意に基づいて、2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）における環境データに対して、以下の検証を実施した。

検証対象	サンプリング対象物件
物流倉庫 55 物件における組織の事業活動に関する環境データ。 <ul style="list-style-type: none"> エネルギー消費量 水消費量 廃棄物総量 エネルギー消費原単位 GHG 排出原単位 水消費量原単位 その他 	訪問物件：横浜町田物流センター、相模原物流センター 検証は関連文書の確認、担当者へのインタビュー、データの取得方法、証拠書類との突合により実施した。 データ検証物件：船橋西浦物流センター、市川物流センター、千葉北物流センターⅡ、大阪福崎物流センター、門真物流センター、小牧物流センターⅡ 検証は証拠書類との突合により実施した。

【検証の結果】

実施した手続及び入手した証拠に基づいて、組織の環境データが、組織の算定基準に照らして適正では無いと確信する事項は、全ての重要な点で発見されなかった。

検証された環境データ

エネルギー総消費量	61,519 MWh
電気消費量	58,859 MWh
燃料消費量	2,660 MWh
エネルギー消費原単位	0.041 MWh/m ²
敷地内における太陽光発電・自家消費 *	537 MWh
敷地内における太陽光発電・売電	5,761 MWh

再生エネルギー由来電力の活用・買電	611 MW h
再生エネルギー由来電力の活用・証券購入	1,513 MW h
温室効果ガス総排出量	26,146 t-CO ₂
温室効果ガス排出量 スコープ 1	0 t-CO ₂
温室効果ガス排出量 スコープ 2	650 t-CO ₂
温室効果ガス排出量 スコープ 3	25,496 t-CO ₂
温室効果ガス排出原単位	0.017 t-CO ₂ /m ²
水消費量	116,892 m ³
水消費量原単位	0.078 m ³ /m ²
廃棄物総量	10,219 t
有害廃棄物	0 t
無害廃棄物	10,219 t
リサイクル量	7,751 t
リサイクル量率	75.9 %
最終処分量	1,839 t

【独立性と品質管理】

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務、及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく独立性及びその他の要件を含む、国際会計士倫理基準審議会の公表した「職業会計士の倫理規程」を遵守した。また、当社は、国際品質管理基準第 1 号「財務諸表の監査及びレビュー並びにその他の保証及び関連サービス業務を行う事務所の品質管理」に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される規則の要件の遵守に関する文書化された方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

以上

【検証の独立性、客観性】 組織と JACO 検証チームは、特定の利害関係がなく、独立した立場で検証を行いました。